

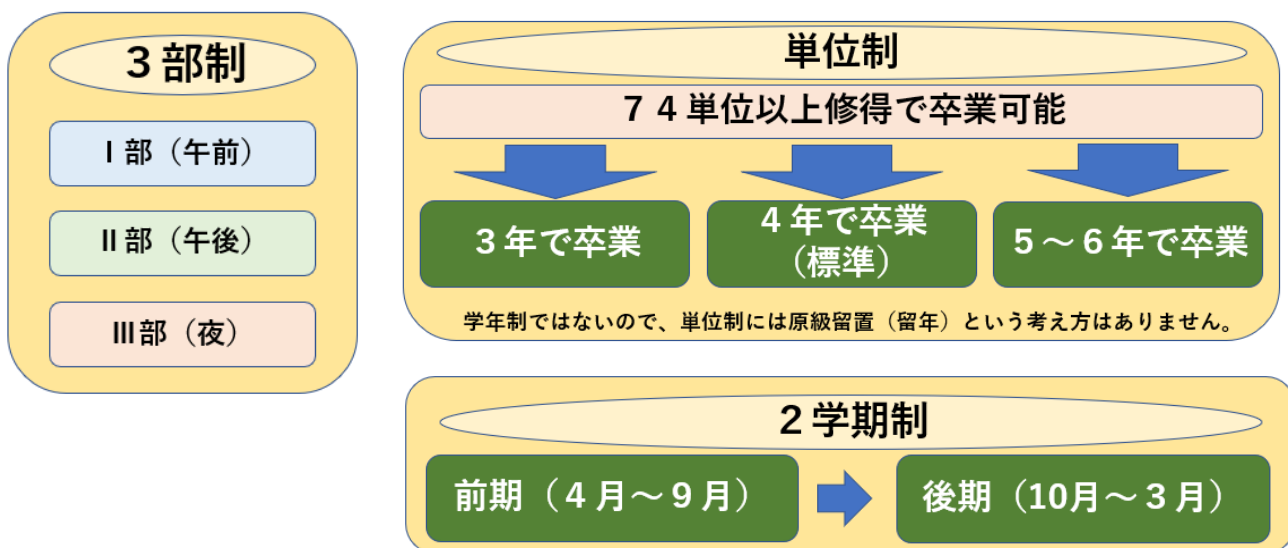
I 本校が目指す姿

(1) 学校の現状や課題

○ 学校の現状

本校は、秋田東高等学校、秋田工業高等学校定時制課程、秋田中央高等学校定時制課程が統合して平成17年に新たに設立された定時制・通信制併設校である。生徒一人一人の学びに沿った学習スタイルの提供を通し、心豊かな人材を育成することを目標として教育活動を行っている。

午前・午後・夜間の3部制、単位制、2学期制を特徴としている。



○ 課題

生徒たちは、自分に合った学び方を求めて本校を選択し、学びへの意欲を持ち通学しているが、指導にあたり次のような点が課題として挙げられる。

- 1 基礎学力の定着
- 2 社会体験の機会提供
- 3 自己有用感、自尊感情の醸成
- 4 多様な学びのシステムの研究、開発

(2) 学校を取り巻く将来の状況の予測

本校は、JR秋田駅に近く利便性に富んだ中心市街地にあり、秋田県教育・福祉複合施設「明德館ビル」の3階から7階までが校舎である。周辺には秋田市民の憩いの場である千秋公園があり、隣接する「エリアなかいち」には秋田県立美術館や秋田市にぎわい交流館AU（あう）があるなど、人々の活動の中心地となっている。生徒にとって豊かな自然と人々の活力あふれる学びの場である本校は、秋田を支える人材を育成するために多様な学びを提供し、生徒一人一人の将来を見据えた目標を実現することを担っている。また、地域に貢献する学校であることが求められている。

(3) スクール・ポリシー

① グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

生徒指標の「自主自律」「心豊かに」「朗らかに」の3つに端的に示されている。自主自律では、生徒が責任を持って行動できること、心豊かにでは、生徒が思いやりの心を持って行動できること、朗らかにでは、生徒が地域や社会の一員の自覚を持って行動できることを示している。このような資質・能力を持つ生徒が、本校の目指す生徒像である。



② カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

単位制を教育課程編成及び実施の柱として、生徒の自主性を尊重しつつ、多様な学びを提供しながら、秋田を支える自覚ある人材の育成を図ること、それが本校の学びである。



③ アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

本校は、次のような資質・能力を持った生徒の育成を目指している。

- 1 主体的に学習や部活動等に取り組み、責任を持って行動できる生徒。
- 2 社会の一員として心身共に健康で心豊かに生きることのできる生徒。
- 3 広い視野と開かれた心で、社会の変化に対応できる生徒。

育成にあたり本校では、単位制の特徴を活かし、生徒一人ひとりの学びに沿う学習システムを提供している。積極的に本校の学びのスタイルを活用し、自己の資質・能力を伸ばそうとする強い意欲を持つ生徒を求める。

II 5年間を通しての具体的な目標と取組

(1) 5年間を通しての具体的な目標

- 1 基礎学力の定着
- 2 キャリア教育の充実と進路実現
- 3 社会性・規範意識の育成
- 4 教育機能、支援体制の充実

(2) 目標を達成するための具体的な方法、取組等

- 1 重点目標 基礎学力の定着
到達目標 自ら学び、個性と能力を伸ばそうとする生徒
具体的な取組 ○個に応じた指導の充実
 - ・少人数学習、習熟度別学習の実施
 - ・履修科目登録における生徒のニーズの見極めと適切な指導○学ぶ意欲の育成
 - ・学習意欲をかき立てる授業の実施
 - ・学習課題の内容の充実
 - ・個別欠課時数票の配付と活用○組織による授業改善
 - ・生徒による授業アンケートの実施
 - ・校内授業研究会、互見授業等の充実

- 2 重点目標 キャリア教育の充実と進路実現
 到達目標 自らと向き合い、進路実現に向けて積極的に取り組もうとする生徒
 具体的な取組 ○進路意識の高揚
 ・「進路の手引」の作成と活用
 ・進路ガイダンス、進学・就職報告会の実施
 ・進路情報の精選と活用
 ・インターンシップの充実
 ○就職、進学指導の充実
 ・個別指導の充実
 ・資格取得の奨励
 ・新規企業開拓の実施
 ・就職支援講座の実施
 ・外部機関等との連携
- 3 重点目標 社会性・規範意識の育成
 到達目標 自らを信じ、挨拶や対話を通して他者と良好な人間関係を築いていこうとする生徒
 具体的な取組 ○態度や言動等に関する指導の実施
 ・挨拶、整容、コミュニケーションスキル等の指導、育成
 ・保護者との連携による指導
 ○思いやりや責任感、自己有用感の醸成
 ・学校行事、特別活動を通じた指導
 ・ボランティア活動の充実
 ・地域との連携
 ○部活動と生徒会活動の活性化
 ・部活動加入の奨励
- 4 重点目標 教育機能、支援体制の充実
 到達目標 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点を生かした教育活動
 具体的な取組 ○特別支援教育体制、通級指導教室の充実
 ・支援が必要な生徒に関する情報の共有と支援の充実
 ○教育相談体制の充実
 ・外部機関、S C、S S W等関係職員との連携
 ○健康、安全教育の充実
 ○I C T機器の活用
 ○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり、教育環境の整備等
 ○職員研修の実施
 ・教職員間の意識の共有、スキルの向上
 ・外部機関等との連携
 ○学校情報の発信
 ・学校説明会、体験入学、ウェブサイトの活用